

2021年12月期第3四半期 決算説明資料

2021.11.9
株式会社ビジョン 証券コード：9416

業績ハイライト 2021年12月期 第3四半期実績



連結損益計算書



(百万円、%)

科目	2021年12月期 3Q実績	2020年12月期 3Q実績	増減額	増減率
売上高	13,392	13,108	+283	+2.2
売上原価	6,573	6,284	+289	+4.6
売上総利益	6,818	6,824	△5	△0.1
売上総利益率	50.9	52.1	△1.1	—
販売管理費	5,804	6,765	△960	△14.2
販売管理比率	43.3	51.6	△8.3	—
営業利益	1,013	58	+955	+1,641.8
営業利益率	7.6	0.4	+7.1	—
経常利益	1,042	167	+874	+521.0
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失 (△)	702	△1,226	+1,928	—

売上高

グローバルWiFi事業：2020年1Qにおけるアウトバウンド・インバウンドの売上が含まれており、2021年において海外渡航者がほぼいないための売上減少を、国内の各種利用ニーズの獲得及び空港検疫所が実施している水際対策業務の一部であるアプリ確認業務の受託によりカバーし売上増加。

情報通信サービス事業：電力小売価格の高騰（2021年1月）に伴う業務受託手数料（取次手数料）の単価減少による売上減少を物販系商材（移動体通信機器、OA機器等）の獲得増加によりカバーし売上増加。
事業構成の変動による売上増加。

売上原価

グローバルWiFi事業：水際対策業務の一部であるアプリ確認業務に伴う人件費（売上原価計上）の増加により売上原価増加。
海外通信原価（通信の利用に応じて課金される従量課金制の契約）、レンタル資産（Wi-Fiルーター）の減価償却費、パートナーへの外注費は引続き減少。

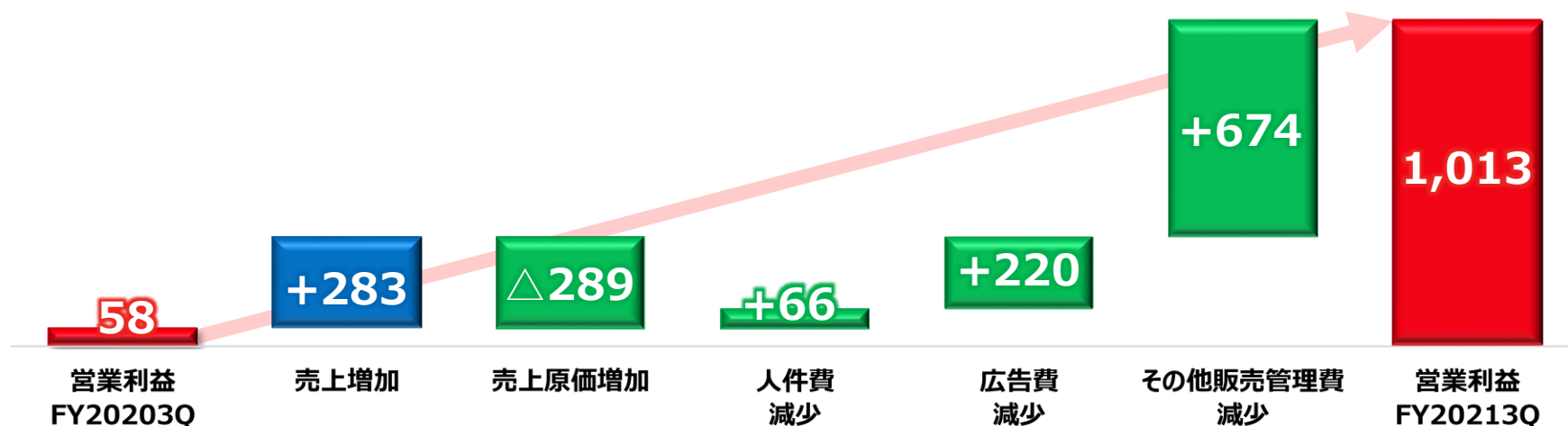
販売管理費

人件費：ProDrivers（プロドラ）事業売却に伴う人員減少及び新規卒業者採用人数減少（2020年49名→2021年13名）。
レンタル件数の大幅な減少による、労働者派遣契約の期間満了に伴う終了（出荷・空港カウンタースタッフ等）。

広告費：需要に合わせたWEBサイトの広告費用（リスティング費用等）削減。

その他販売管理費：各種費用の見直し・圧縮。売上連動費用の減少（荷造運送費、旅費交通費、消耗品費、支払手数料等）。

(百万円)



セグメント業績



(百万円、%)

セグメント別業績		2021年12月期 3Q実績	2020年12月期 3Q実績	増減額	増減率
売上高		13,392	13,108	+283	+2.2
	グローバルWiFi事業	6,493	5,906	+586	+9.9
	情報通信サービス事業	6,724	6,666	+57	+0.9
	報告セグメント計	13,217	12,573	+644	+5.1
	その他	181	538	△356	△66.3
	調整額	△7	△3	△3	—
セグメント利益又は損失 (△)		1,013	58	+955	+1,641
	グローバルWiFi事業	749	△48	+797	—
	セグメント利益率	11.5	△0.8	+12.4	—
	情報通信サービス事業	1,024	1,184	△160	△13.5
	セグメント利益率	15.2	17.8	△2.5	—
	報告セグメント計	1,773	1,136	+637	+56.1
	その他	△62	△355	+293	—
	調整額	△698	△722	+24	—

国内の各種利用ニーズの獲得順調。ウィズコロナ・アフターコロナへの各取組み実施。

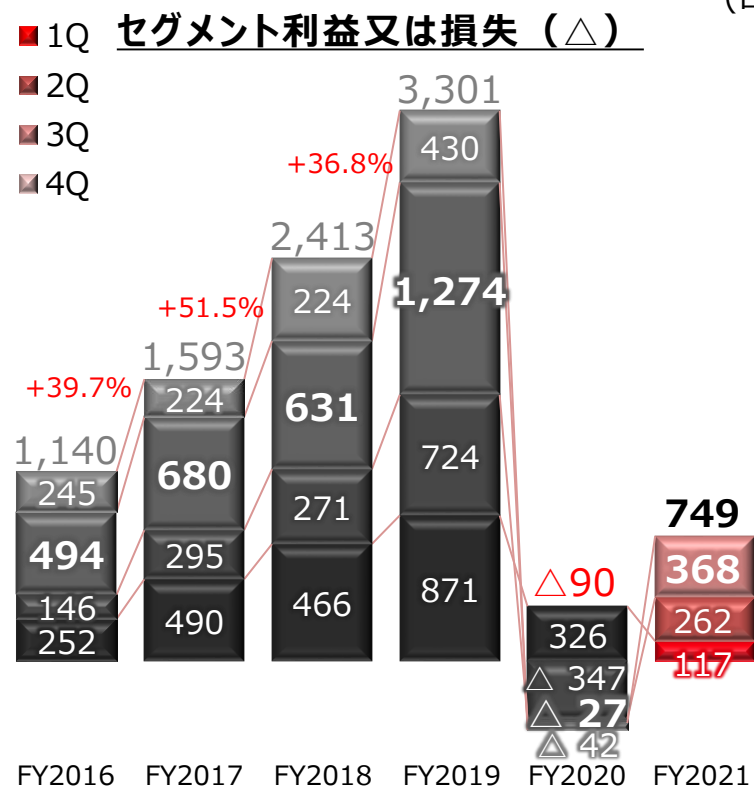
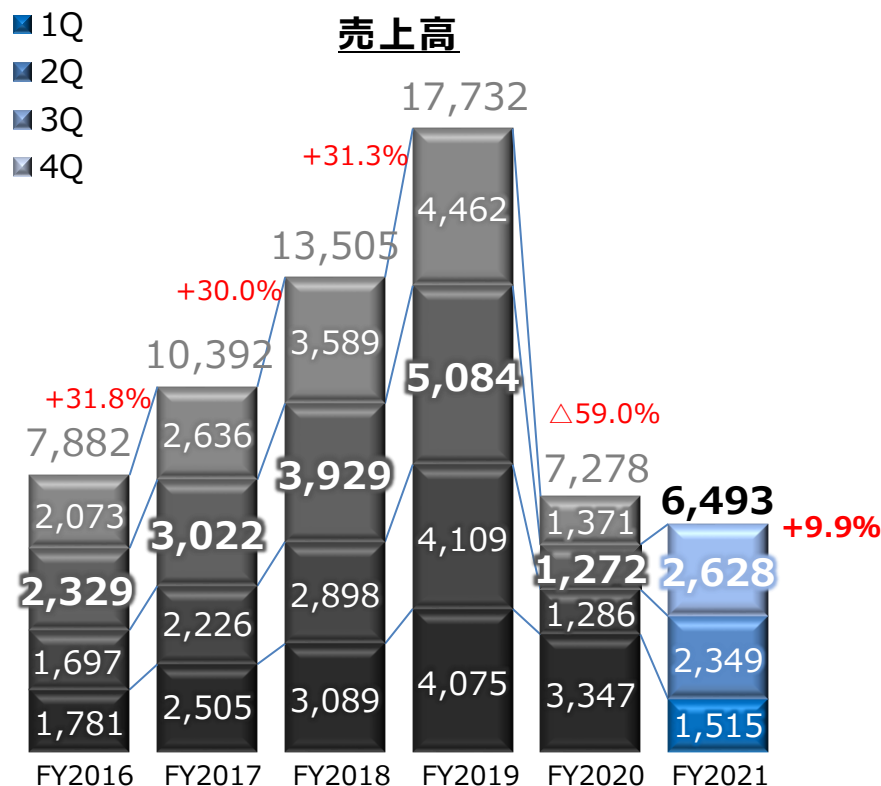
テレワーク（緊急事態宣言の再発出等の影響もありレンタル期間の延長利用増加）。

法人向け社内常備型「グローバルWiFi for Biz」においては、テレワーク兼用としての提案により販売好調

（保有契約数及び通信利用実績増加）。

各種利用ニーズ（テレワーク、引越、入院、出張、自宅回線との併用、各種イベント等）獲得。

空港検疫所が実施している水際対策業務の一部であるアプリ確認業務の受託により売上及びセグメント利益増加（P.41参照）。



（百万円）

複数の事業（商品・サービス）及び販売チャネルを持つ強みを活かし、外部環境の変化に柔軟に対応し堅調に推移。

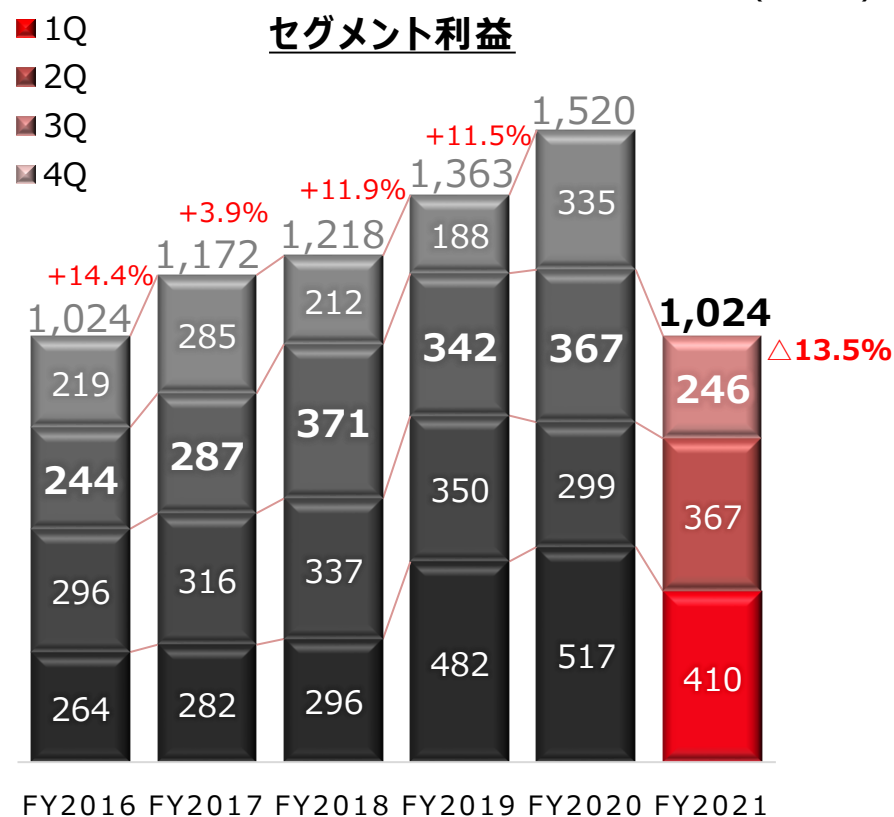
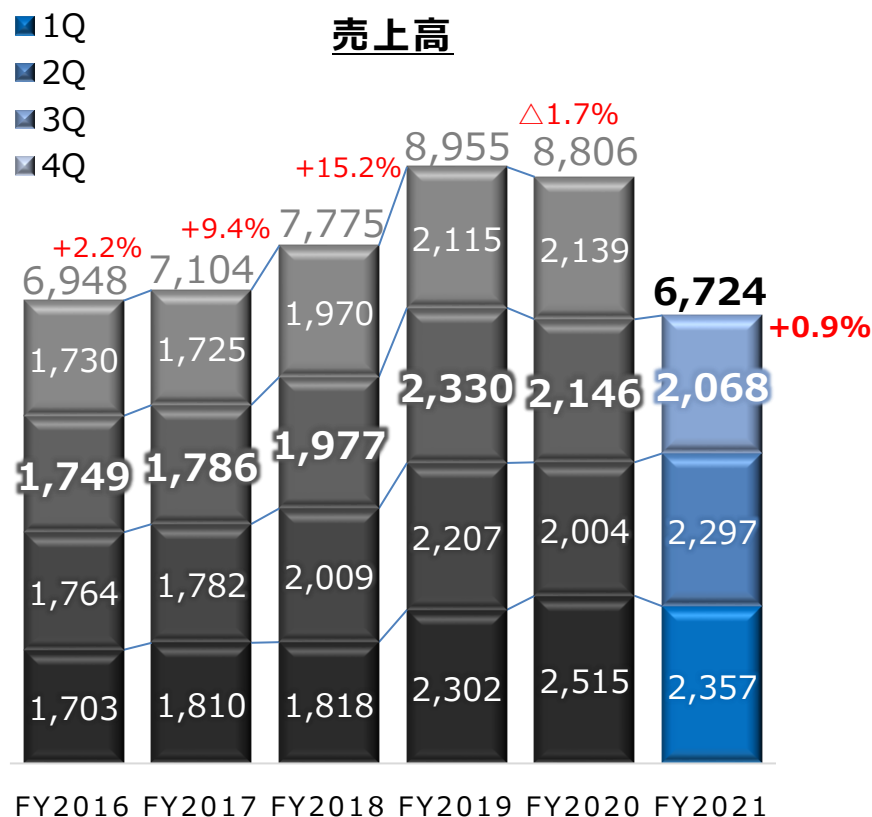
事業構成の変動（物販系商材：移動体通信機器、OA機器等）による売上増加。

半導体不足によりOA機器仕入に影響あり、複数のメーカーからの仕入にて対応（台数の減少を単価増加にてカバー）。

電力小売価格の高騰に伴う業務受託手数料（取次手数料）の単価減少、自社サービス（月額制）販売強化、ビジョンでんき販売開始によるセグメント利益減少。

収益基盤（継続収益）となるストック収益及び自社サービス（月額制）増加。

(百万円)



業績予想の前提と進捗及び事業方針

外部環境及び事業方針（全体）

新型コロナウイルス感染症（変異株含む）の各国における状況、ワクチンの接種状況及びその効果、企業及び店舗等の事業活動への影響、ワクチンパスポートによる海外渡航の状況等引き続き不透明な状況が継続。

ウィズコロナにおける柔軟な事業運営による収益及び利益率の向上を図りつつ、アフターコロナを見据えた新規事業、新サービス（利便性向上含む）の展開を積極的に行い、新型コロナウイルス感染症拡大前の成長性を上回る成長を実現すべく事業活動を実施。

将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期連結業績予想（2021年8月10日公表）における、営業利益以下各利益を2021年第3四半期実績において達成。2021年第4四半期においては新型コロナウイルス感染症（変異株含む）が当社グループの事業活動に与える影響が不透明であること及び来期以降の事業成長に向けた積極的な投資（新規事業、新サービス、グローバルWiFi事業復活に向けたプロモーション費用及び各種備品購入等）を予定。2021年通期業績予想据え置き。

グローバルWiFi事業

順調な国内の需要獲得及び「グローバルWiFi for Biz」の獲得増加を反映。⇒**保有契約数及び通信利用実績増加。**

2021年2月15日公表時の、業績予想の前提条件「第4四半期より海外渡航者（アウトバウンド、インバウンド）が2019年同期対比25%回復」を反映し、一方でコロナ禍における一時的な受託業務の継続等については不確定であり、第4四半期より除外。⇒**海外渡航者は2021年9月（単月）で2019年対比アウトバウンド97.0%減、インバウンド99.2%減（日本政府観光局(JNTO)発表資料推計値）。コロナ禍における一時的な受託業務は本資料公表時点において継続中。**

情報通信サービス事業

足元の堅調な状況及び自社サービス（月額制）の増加を反映。⇒**継続収益（ストック収益及び自社サービス）堅調に増加。**「ビジョンでんき」提供開始に伴う当期の業績へ与える影響値（売上高：△26百万円、営業利益：△166百万円）を反映。⇒**ビジョンでんき契約数堅調に進捗。電力料金（仕入原価）の高騰に備えた調達を実施しつつ事業を展開。**



成長に向けた取組みの内容 (ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略)

	既存事業	新規事業・サービス構築
方針	生産性の向上 オンライン、ニューノーマルに順応 アップセル・クロスセル強化（オンライン商談含む）	3つ目の柱となる事業を育成 時代の変化に対応する3本柱の事業体制
キーワード	✓ 顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供 ✓ 営業体制構築・強化（オンライン） ✓ アップセル・クロスセル強化（オンライン商談含む） ✓ 収益構造ブラッシュアップ ✓ 自社サービス強化・拡充	✓ ウイズコロナ、ニューノーマル順応 ✓ 販売チャネル・事業体制活用 ✓ 顧客基盤活用 ✓ お客様の声を取り入れたサービス ✓ 地方創生
販売チャネル 事業体制	WEB マーケティング CLT カスタマー・ロイヤリティ・チーム 営業 オンライン・オフライン 海外子会社 店舗 空港カウンター等 出荷センター パートナー 旅行会社、OTA含む	
顧客基盤	スタートアップ成長過程の法人顧客 海外企業等と取引のある法人顧客 法人内個人	官公庁・自治体 学校等 旅好きな個人顧客 ※インバウンド含む

法人向け社内常備型「グローバルWiFi for Biz」においては、テレワーク兼用としての提案により販売好調（保有契約数及び通信利用実績増加）。

月額基本料金（継続収益）増加。

国内通信（テレワーク利用）利用実績増加。

海外通信実績（現地駐在員等の長期利用）。

⇒中国、アメリカ、韓国、ベトナム、タイ等 稼働率が徐々に回復。



1台で世界中どこでもインターネット
グローバルWiFi for Biz

グローバルWiFi for Bizなら 全て不要



お申込み



お受取り



ご返却

社内に1台のグローバルWiFi for Bizがあれば、テレワークでの利用から、急な海外出張の際もお申し込みの手配不要ですすぐにご利用できます。
Wi-Fiのレンタルが間に合わず、仕方なく海外ローミングを使うこともなくなります！

海外用Wi-Fiルーターレンタル業界初！超高速通信5Gプラン提供開始。

最初の提供国と地域は、不動の人気渡航先ハワイとアメリカ本土。

準備が整い次第、韓国、中国、香港、台湾をはじめ提供エリアを拡大予定。

引き続きサービス品質向上、ネットワーク品質向上、接続可能エリア拡大に尽力し、ウィズコロナ・アフターコロナの観光・ビジネスのお力になれるよう、世界中で快適なモバイルインターネット接続環境を提供。



5G 超高速通信 プラン ついに登場！

超高速通信が可能になる次世代通信「5G」をグローバルWiFiでもご利用いただけるようになりました。

※アメリカ//ハワイ用5G機種MIFI M2100

5Gでより快適に使える！

5Gプランは下り最大2.5Gbpsの超高速通信！
旅行の方はより快適に🏖️
ビジネスの方は仕事効率がUP💡

プラン	最大速度	アイコン
3Gプラン	最大42Mbps	歩行者
4Gプラン	最大150Mbps	バイク
5Gプラン	最大2.5Gbps	ロケット

※ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

世界120ヶ国以上でご利用可能なeSIMサービス「ワールド eSIM」の提供開始。

Wi-Fiルーター機器を持ち歩く必要がなく荷物が増えない。

レンタルのように、出発時や帰国後に空港カウンター等への返却不要。

オンラインでの申込みのため、国内だけでなく海外現地からもお申込み可能。

各種利用ニーズに対応

複数名、複数デバイス（スマートフォン、タブレット、ノートPC等）での利用時：モバイルWi-Fiルーターレンタル

単身でスマートフォン1台での利用時：ワールド eSIM

過去よりSIMロック解除されていたため、海外現地でSIMカードを購入する文化の強い、欧米の海外渡航者へも渡航回復後は積極的に販売を予定（インバウンド及び海外から海外への渡航者等）。

海外WiFiレンタル利用者数No.1のグローバルWiFiが提供する

海外での次世代通信



eSIM World eSIM

- ✓ 自分のスマホが120ヶ国以上で使える！
- ✓ 自分にあった料金プランを選べる！
- ✓ 荷物が増えない、受取りや返却もなし！

ワールドeSIM



内蔵のeSIM
キャリア 情報を遠隔で書き換え

SIMの差し替えは不要、スマホ内に直接書き込む為荷物も増えません。海外現地からでもお申込み可能です。※海外現地からお申込みされる場合、中3日ほどお時間がかかります。

WiFiレンタル



WiFi機器の受取と返却が必要です。WiFi機器を通してスマホに接続するのでWiFiは常に持ち歩く必要があります。

海外SIM



日本用SIM
海外用SIM

海外SIMを購入後、自身でSIMカードを差し替えて設定が必要です。日本帰国時には再びSIMカードの差し替えを行う必要もあります。

ローコストオペレーションの継続及び各種利用ニーズの獲得により徐々に収益回復。

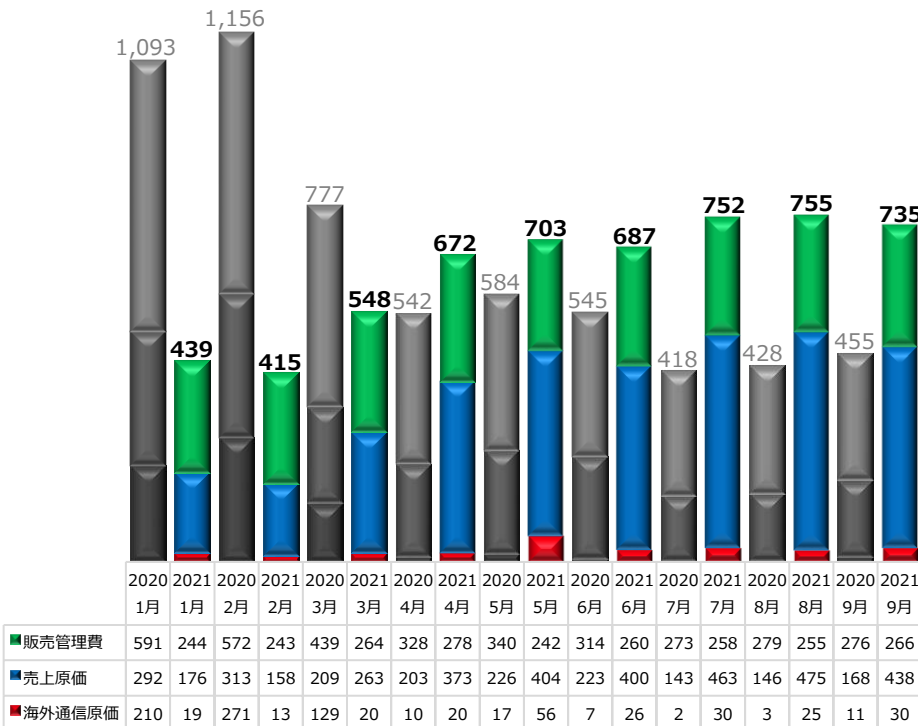
モバイルWi-Fiルーターの各種利用ニーズ（グローバルWiFi for Biz等）を積極的に獲得。

各種費用の見直し及び業務効率改善により、海外渡航回復後はコロナウイルス感染症拡大前（2019年）より高い利益及び利益率を出せる事業構造を構築。

国内の各種利用ニーズは、アフターコロナにおいて減少が見込まれるが働き方改革（テレワーク等）により一定数は残る（出社とテレワークの併用等）と考えられ、コロナウイルス感染症拡大前との比較で収益増加要因。

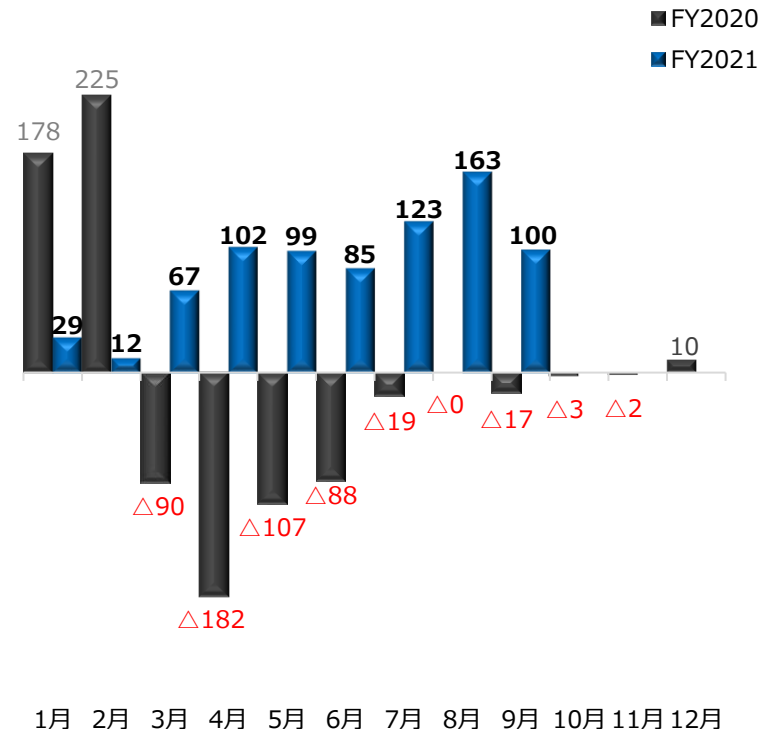
コスト

(百万円)



セグメント利益又は損失 (△)

(百万円)

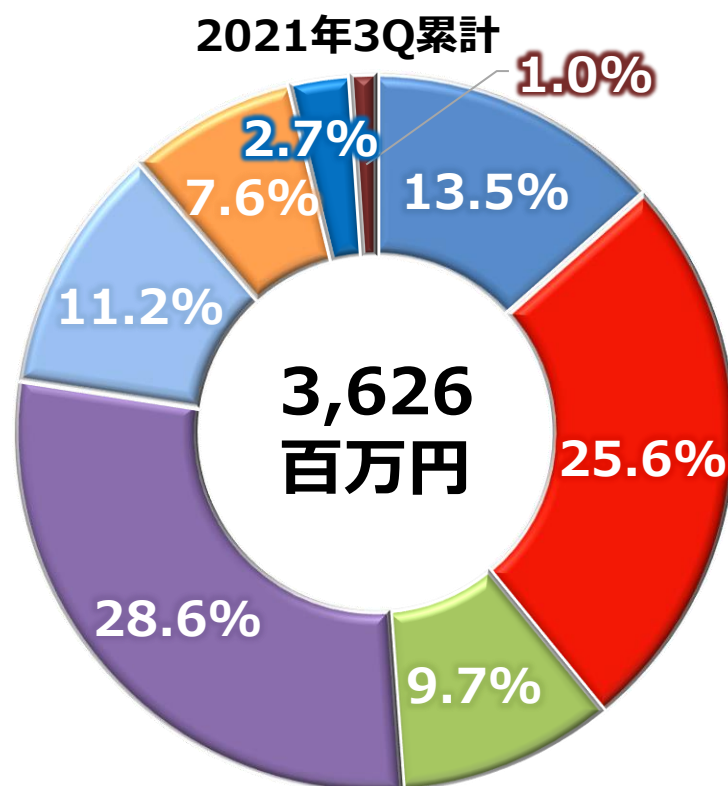
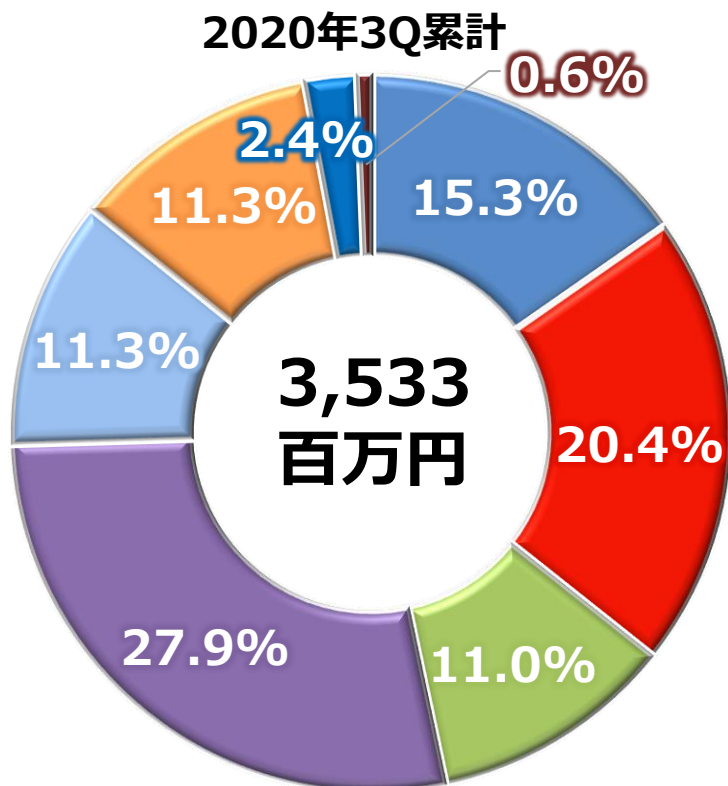


(注)決算処理を含まない月次損益の推移となっておりセグメント業績と値は異なっております。

複数の事業（商品・サービス）及び販売チャネルを持つ強みを活かし、外部環境の変化に柔軟に対応し堅調に推移。

移動体通信機器（テレワーク対応用及びスマートフォンへの切替等）の販売好調。

エコソリューション事業において、電力小売価格の一時的な高騰に伴う業務受託手数料（取次手数料）単価減少及びビジョンでんき（ストック収益）販売開始に伴い構成比率減少。



- | | | | |
|---|---|---|--|
|  固定通信事業 |  移動体通信事業 |  ブロードバンド事業 |  OA機器販売事業 |
|  インターネットメディア事業 |  エコソリューション事業 |  工事関連事業 |  その他 |

(注)決算処理を含まない月次損益の比率となっておりセグメント業績と値は異なっております。

Copyright(C) 2021 VISION INC. All Rights Reserved.

長期的に安定した収益基盤となるストック収益及び自社サービス（月額制）強化。

2019年12月期より自社サービス（月額制）獲得強化。

10億円到達に向け販売強化及びサービス拡充。

2021年3Q累計期間において**7.4億円**と順調に進捗。

(億円)



ストック収益：情報通信サービス事業における加入取次契約に伴う継続手数料及びOA機器販売事業における保守メンテナンス料金等の数値となっております。

情報通信サービス事業、グローバルWiFi事業に次ぐ、 第3の柱に成長する事業としてグランピング事業を開始。

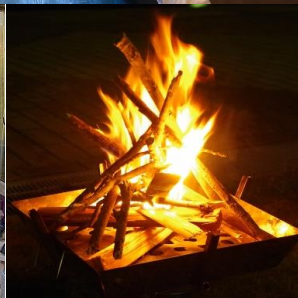
2022年上半期事業開始（予定）。

事業用地取得（賃貸含む）並びにドーム型 TENT 等設備の
取得及び設置費用等 約 1,200 百万円。

事業開始に向け用地、設備、サービス選定等順調に進捗。

ティザーサイト公開（ <https://www.vision-net.co.jp/glamping/> ）

冷暖房、専用トイレ露天風呂完備、
全天候型対応完全プライベート空間グランピング。

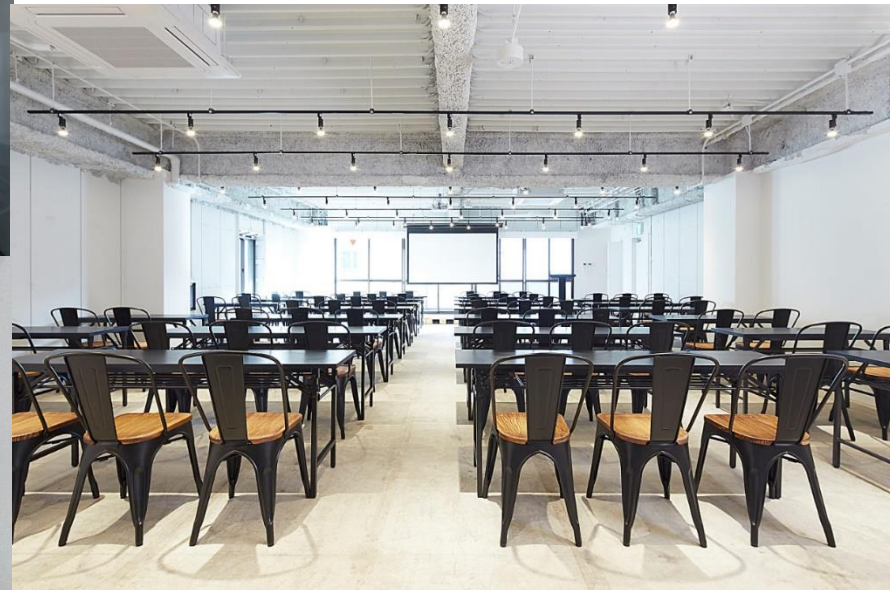


BtoB向けに全国200拠点を超えるスペース（貸し会議室・テレワーク向け）を月額定額サービスで提供する株式会社あどばる社を簡易株式交付により子会社化。

株式交付実施予定日（効力発生日）：2021年12月1日

BtoB向け、

営業力（当社グループ）×企画力（あどばる社）「貸し会議室・テレワークスペースサブスク促進」
両社の顧客基盤、商品及びサービス、取引先、ノウハウ等を最大活用することで、売上向上、仕入効率化、コスト低減等が期待でき中長期的な企業価値向上につながると判断し子会社化を決定。





世の中の情報通信産業革命に貢献します。